

a k i h a t o h n o



# DIRTY FINGERS

TSUKIHIME ONLY FANBOOK VOLUME.06

This is the appendix-work of PORNograffiti SIDE-A/B Series.

The masturbation load comic that AKIHA-TOHNO, which woke up to the blood which is not a man and was smeared with the desire carries out masturbation intently while remembering the past act. Sex comics It is the work which should also be called sequel of PORNograffiti series.



a k i h a t e h n a o



D I R T Y F I N G E R S





а к и н а т а н а



DIERPE FACTORY





## INTRODUCTION

こんにちは、アルピーヌとか名乗るものです。

今回の本は…すいません、PORNOGRAFFITIの続編です (:▽:)

「PORNOGRAFFITI」は前回で一区切りつけたつもりだったのですが、まだ描き足りない部分が多々ありまして、もうちょっとだけ描いてみようという気になり、懲りもせず出しちゃいました。

もうすこしだけお付き合いいただければ幸いです。

それでは、またのちほど～。



“TRAPPED!”

APPENDIX STORY







だっ…

だっ  
だっ  
だっ…

朝はちゃんと  
挨拶を…つて



そんなに  
待ち焦がれて  
いたのか



ああつもうっ  
遅すぎですわ！

なんだ秋葉



そっかそっか

もう…  
いじわるです

お二人とモ  
とごが…変  
様子



はいっ



じゃあ  
おいで





ん……出ます♥



な……っ  
なんなの……  
これ



兄さん……

ごらん……  
ください♥



キノホツツ



あ……  
おっきいです



あ……秋葉さまと  
志貴様が……



ウン……

こんな……あ  
こんな事……って

秋葉  
ここ……だいが  
生えてきたな

はい……

あれから  
まったく  
手入れして  
いませんもの

ごも

秋葉の

マン毛で  
こんなに  
見苦しくなった  
おまんこも……

やだ……  
私なに考えて……

秋葉様を……  
うらやましい  
だなんて

ああ……

秋葉様が

全部兄さんに  
見てもらうため  
なんです♥

あ……んなこと  
言うなんて……

ああ……  
あんな姿を  
見ているだけで

兄さん……

私も……う……



だめ  
まずおねだりが  
先だろ？

うう……  
まだじらすん  
です……

ここお  
ここです……

ほらっ

この  
ピラピラの……お  
奥に……  
欲しいんです

そのちんぽお……  
兄さんの  
おちんぽで

あきはのおまんこ  
ずぼずぼ……て  
ハメて下さいい！

あつ  
秋葉さま！

自分が志貴様になる  
してみたい

私志貴様と  
なんて考えて  
あそこが……

に……  
にいさあん……

早くこの  
固いのお……



なんて下品な  
言葉遣いを……

志貴様と秋葉様が……  
せつくすしている……

姉さんとはなくて  
秋葉様……と……？

は……ひう……

兄さんの  
子宮にまで  
ハマつてますう♡

……熱い……体も  
……頭の中……も……

熱いモノ……が  
駆け巡って……  
破裂し……そう

うれしい  
本当ですか？

秋葉  
お前に  
プレゼントが  
あるんだ



これを…私に？

あれは…クヒワ…

そうだよ

じゃあ兄さん

これは貴方の手で私につけて下さい…♡

レイゾクの…あかし

アキハさまも…シキサまの…モノに…？

アキハさまもねえさんもシキサまのモノ…

ワタンは…

どうですか？似合いますか？

これで私も…

ワタンだけは…シキサまのモノでは…ない

ワタン…ひとり…だけ…が

いやです!!



翡翠……

いや……  
いやです

わたっ

ひとり……

ど……してっ……  
……わたっ……だけ

秋葉様や  
姉さんのことが  
私……

そう……  
これは嫉妬なんだ

ねえ……さ……も

……あき……  
はさ……ま……む……

しきさ……ま……  
と……

熱いものは  
吐き出さる

なあ翡翠……  
これは

待って  
兄さん

翡翠

貴方は  
どうしたいの  
かしら？

あ……きはさま？

慎重に言葉を  
選びなさい

その答えが  
どれほどの  
意味を持つのか

あなたには  
わかっては  
いるはずよ



わたし……  
……は……

わたし……



「姉さんや  
秋葉様みたいに

私も志貴様  
にして頂きたいです」

よね？



先輩というから  
用が済む……

あら

新入りさんを  
しつかりと  
躰けるのは  
先輩の務め  
じゃない？



姉……

もう  
秋葉さまったら

あまり  
翡翠ちゃんを  
苛めないで  
くださいな



ごめんね  
翡翠ちゃん  
こんな強引な  
やりかたで

姉さん…

こうでもしないと  
あなたはなかなか  
本心を見せて  
くれないから

それに…

私たちは  
今まで

「4人」揃って  
何かを…と  
いうことが  
なかったから

これからは…

翡翠ちゃんも  
志貴さんの枕で

慰める必要が  
なくなるしね

そっ…  
…そんな事を

兄さん！  
そのくらしい事で  
大きいきないで  
くださいっ！

さあ  
翡翠ちゃん

これを  
つけたら

あなたも  
私たちの  
………





5000円です♥



翡翠

tanon







*Welcom To The Thanatos Garden...*





脊髄の奥から  
じわじわと  
滲いずってくる

痺れるような  
感覚……



ああ……  
まただ……





心は満たされた  
不思議な感覚……

そして……



そんな湯気  
疼く体とは  
裏腹に……





意識のすべてを

そんな私の

## DIRTY FINGERS

ALPINE



狂おしく  
心地よく

包み込んでゆく……





一度は  
諦めた—



あの日で  
心の整理は  
つけたはずだった





心の反転こそ  
しなかつたものの

逸野秋葉を  
只の淫らで下品な  
牝へと変えてしまった

四季を  
略奪したことで  
期せずして覚醒した

人ならぬ  
逸野の血は



でも

もう一人の私が...



悲りつかれたように  
自覚に没頭した



激しく発情しやすく  
なった私は





トイレで



風呂で

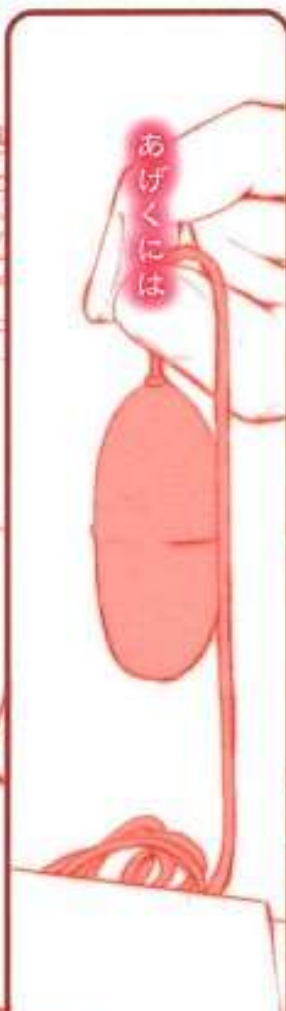


部屋で



卑猥な玩具を  
用い

兄さんの前で  
はしたなく  
イッて  
しまったりも...



あげくには



そして学校で...

行為は  
エスカレート  
し続け



当時はこんな  
展開になるとは  
夢にも思わず

もはや  
捧げる相手も  
いなくなった  
処女をも

この手で  
敗らして  
しまっていた

このことだけは  
兄さんに  
ちよっぴりウソを  
ついちゃったけど…

このくらいのウソは  
…かまわない…よね

あはっ

いたい…  
いたいけど

気持ち…いい…

そう…今だって

こんな事を  
思い出しながら

指はぬかるみを  
さまよっている…



そんな私の  
ことを

見抜いて  
いたから  
なのか

程なく琥珀が  
あの話を  
持ちかけてきた……

私は迷った

つまらない  
ブライドから  
なんかではなく

兄さんは  
こんな私を……

身も心も  
歯止めが  
利かなくなった……

色情狂のような私を  
拒否するかも  
しれない……

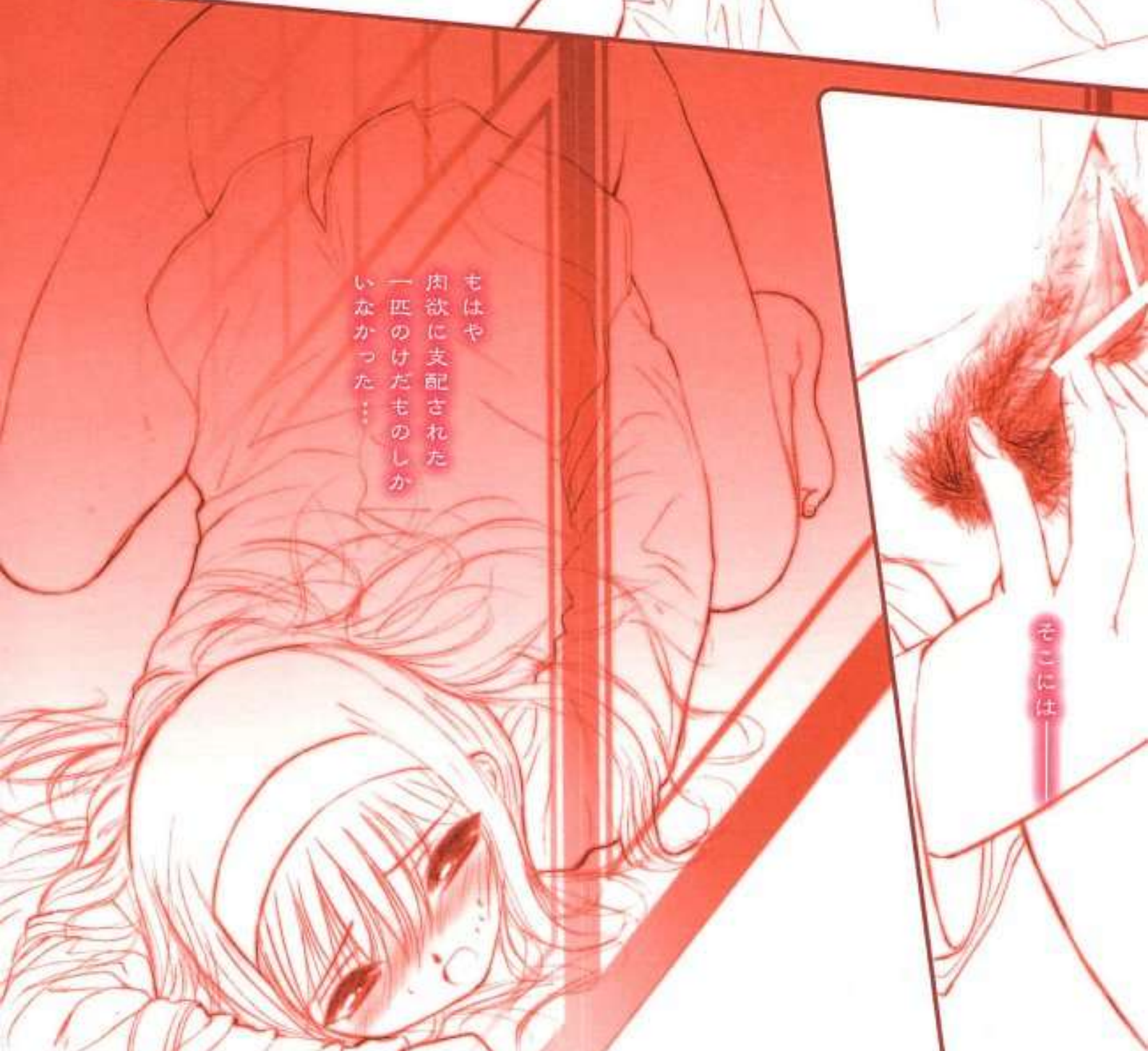
それだけが  
怖かった



琥珀は  
私たちが  
七夜の地へと  
招き

そして  
あの夜――



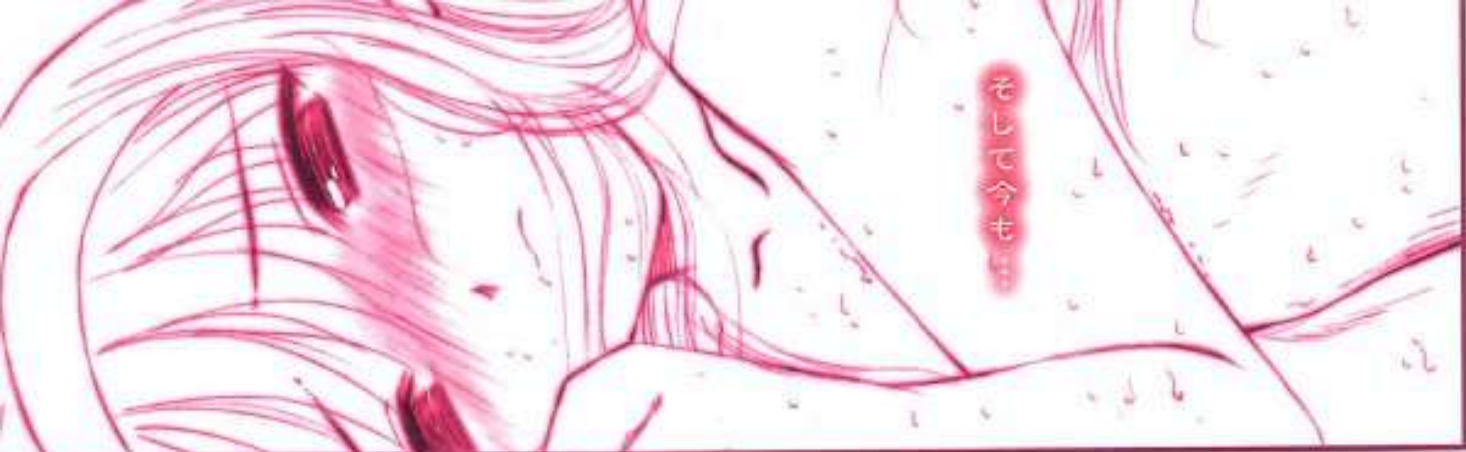


もはや  
肉欲に支配された  
一匹のけだものしか  
いなかった…



そこには









兄さんに初めて  
後ろの処女を  
挿げたとき



気がつくと

目の前に  
兄さんの顔があった

自慰では  
味わえなかった  
鮮烈な…感覚



兄さんのくびれが  
肛門をえぐった瞬間

真っ白になって



お尻は：肛門では

処女の頃から  
ずっとしていた

前の穴でも  
指でしたことが  
あったけど

快感の度合いが  
まるで違っていた

一度その感覚が  
刻まれてしまうと

今では  
パイプですら  
物足りぬほどに…

こんなにも  
気持ちいいことは  
ないと思っていた

それが容易く  
消し飛ぶほどの  
快感が

肛門での自慰…

全身を包み込み

このときの私は  
きつと

涎を垂れ流す  
白痴の様な顔を  
していたらう





はしたない姿を  
兄さんの前に  
晒すことへの恐怖

そして

そんな一番  
知られたくない姿を

見られていると  
いう快感……

それらが  
ない文せになった  
強烈な黒寒が

何度も背中を  
駆け抜けていた

もう……

後戻りなんか  
出来なかった……

でも兄さんは  
こんな私を

琥珀と  
変わることなく  
身も心も  
愛しくしてくれた





何度も何度も  
剥き出され  
摘まれ  
引っ張り出されて  
いるうちに



あ



はひ……はひ  
はひ……はひ

クリトリスモ

最初のうちは小ぶりで  
包皮に隠れていたけど

好き……クリトリス  
されるの好き……い



これなら

こんなに大きく  
勃起するようになって……



「印」をつけて  
もらうには充分……

しゅわ  
しゅわ  
しゅわ



あは…ん

それえ…それ…え

乳首を  
いじられるのは

先っほおつ  
先っほ  
気持ちいい…いい

とても  
気持ちいい

に…兄さん…

自分でいじるのも  
すごく…好き

んーっ?

ああ…さきっほ  
…コリコリ…  
してらう…

いつもさわる前から  
固くしこっていで

じらすように触る  
そのたびに  
子宮が疼いて

し…して…え

ここだけでも  
イけるくらい

そっ…





に…兄さん…  
聞こえますかあ…う？

あ…あ…いいっ

す…す…いい…  
お…ま…ん…ご…お  
ぐちゅっ…  
ぐちゅっ…  
ぐちゅっ…

おまんこ…  
ちんぼ…尻穴…

普段の私からは  
想像もつかない  
だろう  
下品な言葉の数々

お…こんなに音  
しちやい…ま…すう



まん…こ…  
してえっ！

こんなに淫らな  
言葉まで…

口にするように  
…なっていた



いやらしいこと  
言うの大好き…い

好きっ  
おちんぼ好き…

私は  
何ともいえない  
開放感というか  
幸福感に包まれ  
…

兄さんの前で  
口にするたびに



兄さんの前で  
私は素直に  
全てをさらけ出し  
そして

そんな私を  
兄さんは受け止め  
愛してくれる

これほどの幸せが  
他に  
あるだろうか

確かに

兄さんの愛を  
独占したい  
気持ちがない  
訳ではない

それは  
張りという  
ものだろうか





琥珀は私を好んでいることを

いや

むしろ愛しているとも  
言えるだろう

なによりも

今の私が満たされているのも

彼女ののおかげなのだし

私の体を知り尽くしては  
琥珀との文わりは

時に兄さん以上の快感を味わうからして



間近で見る琥珀の性器……



兄さんとの行為が想像できないほど

過去の出来事や

色も薄くきれいで可愛らしく……

まるで

私のは……







琥珀が  
言う通りだった



初めてじっくり見た  
自分の性器は

肉厚でいやらしく  
はみ出した陰唇は  
左右が不揃いで

端の部分が  
濃く色づいた  
まさに肉びらというた  
形をしていた！



琥珀にあんな事を  
言われたり

鏡で見せられたりも  
されたせいで



気になった私は  
自分でそこを  
確認してみた



すっぴん  
だから……  
ちゅわん

これは自分のせい……

ピロピロが感じて  
……何度もいじって……



まるで  
自分の本質が  
形になったよう  
だとさえ思えた



おまんこという  
言い方が  
似つかわしく……て

こんなに卑猥で……



でも

琥珀の陰毛は  
自然のままが  
いいという  
兄さんの好みで

深らに  
茂っていて…



それだけじゃ  
なかった

私も手入れをやめ

陰唇の周りにまで  
いやらしく陰毛が  
生え揃って来た

兄さんは

気に入って  
くれるだろうか？

はみ出た  
肉ピラといい

変態な私には  
相応しいとも  
言える  
ここだけと





でも……  
まだだめだ



あふさ……疼く



乳首やおまんこ……  
そして肛門が

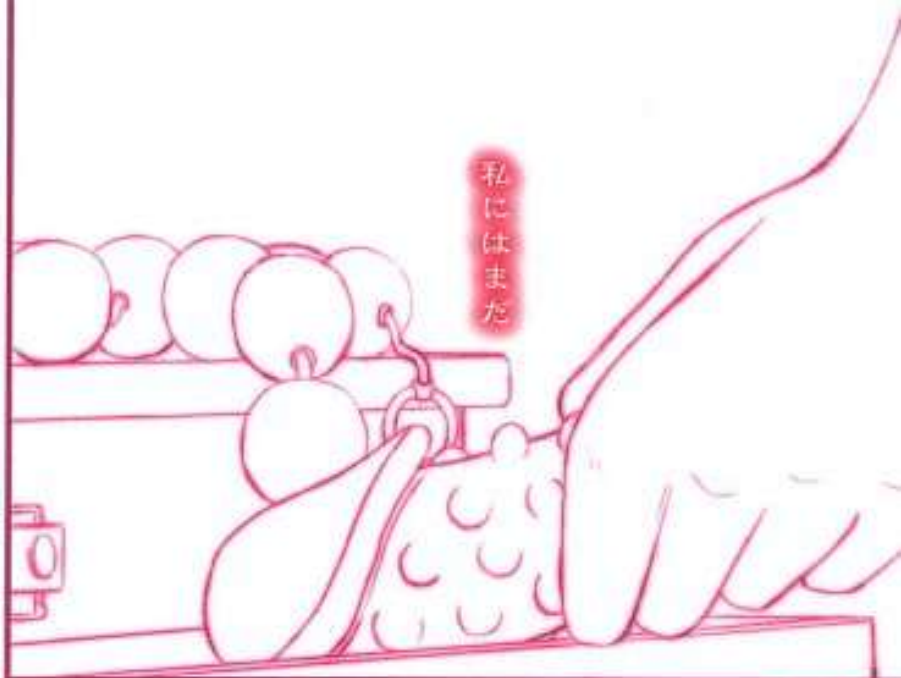
兄さんや琥珀の  
受撫を求め……  
疼いている







すべきことが  
残っているのだから



私にはまだ



秋葉さま  
起きていらっしやい  
ますか？

待って  
今行くから！



最後の仕上げと  
なるべきことが…

おはよう琥珀

はい  
お早うございま

ずいぶん  
お早いですけど  
もしかして…

あっ  
貴方だって  
同じでしょ!?

ふふ…はい  
そうでした

ふふふ

くすくす。



# POSTSCRIPT



ここまで読んでいただきありがとうございます。

今回の話はPORNOGRAFFITIの補完的な意味合いを持たせました。  
最初の話はそのまま続きというか翡翠補完話ですね。  
あのままだと翡翠だけが仲間はずれ状態なので、救済というか  
みんな仲良く遠野家編「タナトスの花」状態をやるということなんですけど  
なんともまあひどいとゆーか、トンデモ話ですね(´\_ゝ´) ;  
次の話は、こちらも前後編の後日談というか、秋葉視点での回想という形での  
ストーリー進行になっています。この二本は微妙に特撮ガシク口というか  
前後していますね。  
果たして、こちらの話は全編通してオナニーばかりですが仕様です(笑)  
前作のあとがきで独白自慰シーン形態はまたやりそうだと書きましたが  
この話がそれにあたってのわけですね。  
まあ、おいらが好きなのだけってのもありますが……。

今回は前作と比較してもかな〜り派手に淫語をしゃべらせまくっちゃってますが、  
秋葉のモノローグばかりなので、現実での会話より脳内においてはかなり  
変態的な本性が渦巻いているということと、既に一度自分をさらけ出して  
いるせいで吹っ切れちゃったっていうのもあったりします。  
(あちらでの爆れまくった性交(笑)の結果、翡翠マンガでは秋葉様すっかり  
変態モードで淫語言いまくり状態なわけですが(´\_ゝ´) ;)  
いろんな意味で少々エスカレートさせ過ぎちゃった嫌いもありますので、  
こんな淫語連発の淫乱女は秋葉じゃないとか淫語うざすぎとか陰毛濃すぎとか、  
色々お思いの方も多いかと思いますが、どうぞ許してやってくださいな。  
(濃い陰毛に関しては…すいません、黒髪ロングの美少女は本来毛深いって  
基本設定が萌えというか脳内にかなり強烈に刷り込まれていまして……(；▽；) ;)  
実際、秋葉自慰本「Red」が比較的ノーマルな自慰シーンでの展開だったので、  
今回はあえて対極を目指そうというのも表コンセプトであったりしましたが……) ;

衣装に関してはちょっと凝った感じになっております。  
表紙については、あのままだと直球ヘアヌードなので  
(しかも妙に陰毛リアル指向だし、中身に絡めて微妙に濃い目だし(爆))  
それではいくらなんでも持ち歩くにしても展示するにしてもまずかるうと  
いうことでの苦肉の策であいう衣装になりました。  
果たしてカバーとして中身見る人がどれだけのいるかではあるんですけど  
いいんですよ、所詮自己満足なんですから(爆)

本文3色刷りなのは、秋葉の自慰シーンが、実際のリアルオナニー場面と  
回想でのオナニー場面が頻りに入れ替わるので、ごちゃになって判りづらく、  
枠線の変更のみではフォロ〜しづらいかなというところから、いっそのこと  
それもシーンごとと色分けしちゃえばいいかなということで導入した次第して…。  
そういう感じで読んで下さるとありがたいです。  
(あと一色加えれば結果的にフルカラーと変わらず…かなりアレな仕様です(爆))

次回作ですが、来年…春のcレゾでしようかね〜。  
体験版がかなりキテたので(特に爆力) 恐らくFATE本になるんでしょうが  
月姫関係でもネタストックはいっぱいあるのでどうなるやら…。

それとは別に、以前から極秘で進めていた企画が本格的に動き出します。  
3月サンクsgivingに合わせて発行予定の月姫ハードコア系本です。  
企画および制作は恋愛小説家さん、恋愛漫画家さんと、おまけに私。  
豪華メンバー多数参加(←実際じゃれにならなかつたり)な本になります。  
本の基本コンセプトは  
「作家陣各位がハードコアを目標に自己のえろ〜ん表現の限界点に挑戦」した  
「要なし作品はNG」な「最強の高濃度・萌え〜な月姫系えろ本」を目指すという  
ここで言うだけだとかなり大風呂敷っぽい本ではあります。  
詳細は年明け開設予定のHPでご覧になっていただくと、その中身なんですけど  
おいらは発起人の一人でもありますのでかなり特徴的なハードコア話を描こうかと。  
今回の本よりイッてる方向というか…調教系？(お  
商業でも、過去の同人でもできなかったピンポイントな方向を目指そうかと…。  
(すくなくとも前作で少し描いた秋葉の野外露出調教ものとは別の話です)  
ともあれ、3月に無事発行できましたらよろしくお願いたしますm(\_\_\_\_)m

企画HP=<http://www.h6.dion.ne.jp/~renai-sh/goudou>

それでは、このへんで。  
世界情勢だけでなく、このオタク世界にまできな臭いにおいが漂う昨今ですが、  
来年もよい年でありますように…。



# COROPHON

DIRTY FINGERS

2003.12.30 初版発行

発行

ディエツプ工房

URL

<http://chizuru.suki.gr.jp/alpine/abu/>

MAIL

[alpine@ea.mbn.or.jp](mailto:alpine@ea.mbn.or.jp)

印刷

パワープリント

無断掲載及び18歳未満の購読は  
これを禁止します。





覚醒した人ならぬ **遠野の血**は、  
**遠野秋葉**を只の **下品**で淫らな **牝**  
へと変えてしまった…。 **兄さん**は……。  
そんな私でも



а н і н а т о н а



D I E P P E F A C T O R Y